

# 図書館 通信



画：長田 清（登別美術協会）

豊かな時間を図書館で

令和5年  
(2023年)

1



月号

第500号(第41巻第10号)

## 【目次】

- |               |                              |
|---------------|------------------------------|
| P1 ご挨拶とお知らせ   | P6 職員コラム                     |
| P2 行事と展示のお知らせ | P7 職員のおすすめ本                  |
| P3 事業報告       | P8 新着図書案内                    |
| P4 アーニス分館だより  | P12 カレンダーとお知らせ、<br>図書館施設のご案内 |
| P5 市民のひろば     |                              |

編集・発行 登別市立図書館  
〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1  
電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>  
E-mail [toshokan@city.noboribetsu.lg.jp](mailto:toshokan@city.noboribetsu.lg.jp)

## 明けましておめでとうございます

旧年中は、図書館をご利用いただき、誠にありがとうございました。  
今年も、市民の皆さまにとって、より使いやすい図書館となりますよう  
職員一同努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

## 図書館通信が500号になりました！

「図書館通信」が今月号で記念すべき500号となりました！  
これからも、図書館と利用者をつなぐ「登別らしい図書館だより」をお届けしてまいります。お楽しみに！

**予告！**

### ◎雑誌の付録抽選会◎

本館で購入している雑誌の付録抽選会を開催します。

\*詳しくは館内掲示、図書館HP、図書館通信2023年2月号にてお知らせします。

**用紙配布・応募期間 2月1日(水)～2月22日(水)**

\*応募券配布も2月1日から

お楽しみに！



## 映画会

※会場は図書館3階会議室です。  
入場無料、申込は不要です。

### 今月は7日です！（毎月第1土曜日に開催）

- こども映画会** 「まんが世界昔ばなし 王様の耳はロバの耳 ほか」（約30分）  
10時30分～  
◎みんなが良く知る昔ばなしのアニメを上映します  
※来月も「まんが世界昔ばなし」から厳選したエピソードを上映します。
- 名画鑑賞会** 「講談師 神田松之丞 新世紀講談大全」（110分）  
13時30分～  
◎講談界の風雲児 神田松之丞による迫力と笑い溢れる高座です。  
※来月は映画「ミラーを拭く男」を上映します。

## おはなし会

※会場は①アーニス分館  
②③図書館1階えほんのへや です。  
入場無料、申込は不要です。

- ① **デジタル分館おはなし会**（電子絵本や電子紙芝居の読み聞かせ）  
日時 1月 8日（日） 14時より **※毎月第1日曜日（今月は変則）**
- ② **えほんのへやのおはなしかい**（絵本や紙芝居の読み聞かせ）  
日時 1月14日（土） 14時より **※毎月第2土曜日**
- ③ **おはなしぽけっと**（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアター）  
日時 1月28日（土） 13時30分より **※毎月第4土曜日**



## ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。  
どなたでもご覧頂けます。

### 「新たな一歩を踏み出す人へ ～若い人に贈る本～」

開催期間 1月 6日（金）～26日（木）

1月9日は成人の日です。それに合わせて読書推進運動協議会が作成した「若い人に贈る読書のすすめ」より本の展示を行います。成人式を迎える方も、迎えた方もぜひご覧ください。



## 事業報告

### 胆振図書館協議会研究集会 「公共図書館ネットワークの発展」を開催しました

12月1日、登別市立図書館で胆振図書館協議会主催による研究集会が一般の方にも公開して行われました。

講師には、広域図書館ネットワークの研究で知られる東京大学大学院教育学研究科博士課程の森山光良氏（元岡山県立図書館司書）をお招きしました。



森山氏は以前より登別・室蘭・伊達の3市による「西いぶり広域図書館」についても調査してこられ、こうした研究の成果を日本図書館情報学会で発表されています。

広域図書館ネットワークとは、目録（総合目録や横断検索）と資料搬送の両方を備えた図書館のネットワークのことを言います。

この日の講演では、「北見地域ネットワーク研究会」など道内での取り組みについて紹介されたあと、「西いぶり広域図書館」など全国で5例しかない「システム統合ネットワーク」について、詳細な統計を基に比較して考察されました。そして、そこから見えてきた「西いぶり広域図書館」の特色と課題を指摘され、今後に向けての提言をいただきました。

### 絵本を楽しむ会 「大人も楽しめる絵本と紙芝居」を開催しました

12月7日、絵本を楽しむ会主催による標記おはなし会が図書館会議室を会場に開催されました。

図書館での同会による一般公開のおはなし会は初の試みでしたが、当日は18名もの方々にご参加をいただきました。

絵本「ももたろう」や、紙芝居「てぶくろをかいに」など5本立ての構成で、参加された方々はもちろん、読み手の方々も楽しいひとときを過ごすことができました。

このほか会場では、クリスマスやお正月、冬がテーマの絵本などが数多く展示され、おはなし会を華やかに彩っていました。



# アーニス分館だより

## アーニス分館では



- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 「国立国会図書館デジタルコレクション」  
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ **新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を  
ご覧いただけます。**



## イベント報告

2022/11/26(土)「アドベントカレンダーをつくろう！」に20人の皆様のご参加をいただきました。モールやパーツと日付をデコレーションして、24枚の封筒をカレンダーにしました。



時間いっぱい子どもたちが頑張って仕上げたので、カラフルで楽しい作品が出来上がりました。



## 《新刊おすすめ紹介》

『食事でもせない！飲み込みづらい声がかすれるセキ込む口が渴くを克服！』

のどを鍛える長生きうがい』

平野浩彦著 / 文響社発行



この頃食事でもせたり、急にセキ込んだり、固いものが食べにくくなった等、思い当たることはありませんか？

それは口の中の舌やのどが衰える「オーラルフレイル」が関係していると考えられています。

そこで、「うがいはお口のスクワット」いつものうがいを長生きうがいに変えてお口のなかの筋トレで予防しましょう！

いろいろなチェック項目や実際のやり方などカラー写真で分かりやすく説明しており、Q&Aで疑問を説明しています。

これからの風邪予防対策にも効果は絶大!!

早速試してみませんか♪



## 朗読会 in 図書館

2022年9月29日かなり前からの念願だった、図書館での朗読会を、登別朗読ボランティアの会のメンバーで開くことができました。題して『大人のための朗読会』。

朗読とは声を出すことなので、新型コロナ対策をどうしたらよいかなど、課題はたくさんありましたが、「やるっきゃない、やってみよう」と一歩を踏み出しました。

朗読者は3名。それぞれが持ち寄ったものを15分～20分程度。

普段の我々の活動は、市から発行される広報などを、録音・CD化して目の不自由な方に届けるといふ、いわば『硬い』文章を読むもの。一転朗読会では、それぞれの特色の出る楽しいものになりました。

今回はなぜか秋田地方の民話が2名（ちなみに秋田出身者ではありません）・・・絵本「三コ」は標準語、秋田民話は秋田弁と楽しむことができ、私は現代若い作家さんのものを朗読しました。

聞き手は、会の会員くらいだろうと考えていたのが、広報や図書館通信に載せていただいたのが功を奏したのか、会員以外の方が何名かいらっしやいました。新鮮で貴重なドキドキを味わうことができました。

今回の朗読会の前は、新型コロナの感染者数が急激に増え、会の集まりも自粛していたため、打ち合わせがあまりできなく、不安だらけの開催でしたが、「とりあえずできて良かった」が感想です。

さて、読書の醍醐味は皆さんにとっては何なのでしょう。私にとっては違う世界で違う自分になれる場所。素敵な世界に出会いたくて本屋や図書館をうろうろした学生時代。司書さんの物静かながら、的確なアドバイスをくれる姿勢にあこがれたものです。

そんな図書館は静かに本を探し出すところ・・・と最近まで思っていました。今回、朗読する場所という意味合いも加わりました。朗読会を開くことができたのは、図書館の皆さまのご協力の賜物で、また一歩図書館に気持ちが近づいたのがうれしいです。

ちなみに本を声に出して読むと、黙読しているときに気付かなかった作者の息づかいを感じることができ、新しい発見をすることがあります。ただ私の場合、それを聞き手に伝える『技』がまだまだ未熟で、後から「あー」と頭を抱えてしまいます。こんな風に読んだつもりじゃないのにと落ち込みます。

でも読んでいる最中は、違う自分になったような錯覚になり、わくわくしている自分に気づけます。へたくそでもいくつになってもワクワクは止められない。さて今度はどんな本に出会えるか。図書館の皆さんに協力してもらいながら、新しい世界に旅してみることを期待しています。

これを読んだ皆様、一緒にワクワクな『朗読』を楽しんでみませんか？



## 「山登りと私」

「運動」 この二文字を見てすでにげんなりしている人もいるでしょう。数か月前までは、私もその一人でした。「気軽に始められる」のうたい文句につられて初めてみたエクササイズ動画も三日坊主で終わり、ランニングに挑戦してもただただ苦しくなるだけで長続きはしませんでした。そんな調子で運動から遠ざかっていた私が、ある日突然山登りに目覚めてしまったのです。

まだ青く草木が茂っている季節に娘からメッセージが届きました。内容は「自宅から樽前までどれぐらいかかる？」というもので、「なんでそんなことが知りたいの」と聞き返すと「山登りがしたいんだ〜！」と意気揚々な様子で返信が返ってきました。なんでも、『鬼滅の刃』の聖地巡礼がしたいという下心満載の理由で山登りを始めたいらしいです。ちょうど娘も帰省の時期になっており、夫も山登りに興味を示したので、私と夫、娘の三人で「まずは近所の山から！」と室蘭岳を登ることになりました。最初はたいして乗り気でなかった私もやる気満々な二人につられて、当日は帽子にタオルに水筒と気合十分な装備で臨みます。山肌を歩きながら、子供が小学生のころ父母参加でカムイヌプリに登るという学校イベントを疲れからと一蹴した自分が頭によぎりました。そんな自分が今は楽しみながら山を登っています。山道を踏みしめて上へ上へと昇っていく感覚は、日常生活ではなかなか味わえるものではなく、ころころと表情を変える風景と合わせて全身全霊で山登りを楽しめました。山頂ではところどころ雲がかかっており、ひやりとした風が吹いていたのを覚えています。何時間も歩き続け疲れ切っている私の心の中には、不思議と達成感のようなものが芽生えていました。

それから私はしばしば山に登るようになりました。山の機嫌は変わりやすく、天気のいい日ばかりではありません。時にはずぶぬれになりながら山を登ります。「私、何をやっているんだろう？」と問いかけてくる頭の中の自分とは裏腹に、着々と頂上へ近づいているという実感から自然に緩む自分の頬。山登りの魅力に取りつかれてから早三か月、身近な胆振の山々を見上げるだけだった私が、いつの間にかそんな山々を登り、景色を見下ろす日が来るなんて夢にも思っていませんでした。

雪が解けたら次はどこに登ろうか。ついそう考えてしまう自分は、以前の三日坊主だったころの自分とはどこか違うのかもしれない。



## 「発達障害の人が見ている世界」

岩瀬利郎著 アスコム発行

この本は発達障害とはどういうものか、またその仕組み、その性質からくるいろいろな困りごとを実例にそくしながら、感じ方・考え方の違いから来るトラブルの解決策を紹介し、その特性を強みととらえ、この先、どのようなことに活かすことができるかということを中心に解説しています。

発達障害【注意欠如・多動症（ADHD）・自閉スペクトラム症（ASD）】当事者の僕としては関心を持ってこの本を読み、感じたところでは全部ではないにしろ当たっているところが多いと思います。

この本では大人の発達障害について主に書かれています。子どもの発達障害と違って表に症状が出にくい大人の発達障害の人の特性、そのために出るふるまいやそれに対して当事者や周囲がどう対応しているのかが実例を挙げて、説明しています。

この本を見てみると発達障害当事者以外の方は、当事者の振る舞いに困っていますが、立場を変えて当事者の立場から言うと自分の行動に対しての相手の反応に驚いてしまい、どうしていいかわからなくなっており、お互いに相手が分からなくなってしまうことが多いです。

読み終わってこの手の本を読むことで発達障害を持っている人達とそうでない人達との理解が深まる一つの助けになればいいと思っています。



## 電子図書紹介

### 「突撃！オトナの大学院」

森井ユカ著 主婦と生活社発行 電子書籍（リフロー）



これは40代で急に思い立って美術系の大学の大学院に進んで卒業した著者の大学院体験記です。

僕は通信制の大学を2年前に卒業し、まだ、社会人として大学で勉強した余韻が残っているときだったので、興味があって読みました。

学費のこととか通学や現実的な面をマンガもいれながら簡単に説明しているので、さらっと読めます。他の大学院経験者や通信制大学経験者の経験談も書いています。ただ残念なのは美術系の大学院の経験談なので、他の学部の大学院についての説明は薄く別の本を捜し出して読まなければならないということです。将来、何かを突き詰めて勉強しようと考えている人には参考にできる本ですが、ただ、これはあくまでも東京周辺での事情、北海道では事情が違います。あとはコロナ禍以降の大学の勉強方法の変化も見逃せませんが説明は省きます。最後に事前調査は念入りに、入学するときは一気に、ということを通して通信制の大学の卒業生として書いておきたいと思います。

# 新 着 図 書 案 内 令和5年1月 No.1

●印は今評判の本です。

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

書 名	著 者	書 名	著 者
<b>0 総記</b>		北欧こじらせ日記	週末北欧部chika
一冊に名著一〇〇冊がギュッと詰まった 凄い本	大岡 玲	北欧こじらせ日記 移住決定編	
● 東京国立博物館 ミュージアムストーリー	東京国立博物館	エリザベス女王 写真で振り返る、国家に捧げた生涯	日経ナショナル ジオグラフィック
眞野先生。本が傷んだら修理するだけ じゃダメってホント？	眞野 節雄監修	倭と加耶 朝鮮海峡の考古学	東 潮
東北の古本屋 増補新版	折付 桂子	● 女人京都	酒井 順子
<b>1 哲学・宗教</b>		クナシリ・メナシの戦い 事件の復元と歴史的位相	菊池 勇夫
神主はつらいよ とある小さな神社のあまから業務日誌	新井 俊邦	世界のおみやげ図鑑	地球の歩き方 編集室
信じる者は、ダメされる。元統一教会信者だ から書けた「マインドコントロール」の手口	多田 文明	<b>3 政治・経済・社会・教育</b>	
人生は図で考える 後半生の時間を最大化する思考法	平井 孝志	データで読む地域再生	日本経済新聞社 地域報道センター
君は君の人生の主演になれ	鳥羽 和久	すごい採用	大谷 昌継
アメリカの教会 「キリスト教国家」の歴史と本質	橋爪 大三郎	涙がこぼれる老人ホームのお話	小島 すがも
精神科医Tomyの気にしない力	精神科医Tomy	中国・ロシアに侵される日本領土	山本 皓一
宗教にはなぜ金が集まるのか	島田 裕巳	太陽の子 日本がアフリカに置き去りにした秘密	三浦 英之
<b>2 歴史・地理</b>		● 我々はどこから来て、今どこにいるのか？ 上・下	エマニュエル・トッド
温泉百名山	飯出 敏夫	フリースクールを考えたなら最初に読む本	石井 志昂
● 天路の旅人	沢木 耕太郎	学び合い、発信する技術 アカデミックスキルの基礎	林 直亨
戦国の〈大敗〉古戦場を歩く	黒嶋 敏	● ひどい民話を語る会	京極 夏彦ほか
武士とは何か	呉座 勇一	防大女子 究極の男性組織に飛び込んだ女性たち	松田 小牧
家畜の考古学 古代アジアの東西交流	菊地 大樹・ 丸山 真史	情報学部 中高生のための学部選びガイド	漆原 次郎
奇跡の対話 渋沢栄一の孫とアイヌの母神	宇梶 静江・ 鮫島 純子	● 異彩を、放て。「ヘラルボニー」が福祉× アートで世界を変える	松田 文登・ 松田 崇弥
家康はなぜ乱世の覇者となれたのか	安部 龍太郎	中学生のおうちノート術	みおりん
My HOKKAIDO THE ULTIMATE GUIDE TO JAPAN'S GREAT NORTHERN ISLANDS	Aaron Jamieson	犯罪心理学者が教える子どもを呪う言葉 ・救う言葉	出口 保行
日本の凄い神木	本田 不二雄	オンガクハ、セイジデアル	ブレイディみかこ
● すばらしい失敗 「教独の父」鍛冶真起の仕事と遊び	ニコリ	ふしぎな中国	近藤 大介
風土記博物誌 神、くらし、自然	三浦 佑之	バカと無知 人間、この不都合な生きもの	橋 玲
歴史を拓いた明治のドレス	吉原 康和	日本の伸びしろ 悲観を成長に変える思考力	出口 治明
札幌の地名がわかる本 増補改訂版	関 秀志	赤い水曜日 慰安婦運動30年の嘘	金 柄憲
SDGsは地理で学べ	宇野 仙	近代日本外交史 幕末の開国から太平洋戦争まで	佐々木 雄一
逆説の日本史 27 明治終焉編	井沢 元彦	日本でいちばん大切にしたい会社 8	坂本 光司
札幌市の100年 写真が語る	いき出版	ヤクザと金融機関	海棠 進
世界のすごいホテル	地球の歩き方 編集室	水族館のアシカはいくらで買える？ 3ステップでわかる教養としての地方財政	野崎 敏彦
地球の歩き方aruco東京で楽しむ英国	地球の歩き方	● 雇用か賃金か日本の選択	首藤 若菜
冬の北海道 '23	昭文社	ジェンダーで読み解く北海道社会	北海道ジェンダー 研究会

# 新 着 図 書 案 内 令和5年1月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
先生に知ってほしい家庭のサイン	五十嵐 哲也ほか	旅する地球の生き物たち ヒト・動植物の移動史で読み解く遺伝・経済・多様性	ソニア・シャー
民具のデザイン図鑑	武蔵野美術大学 民俗資料室	運動しても痩せないのはなぜか 代謝の最新科学が示す「それでも運動すべき理由」	ハーマン・ ポンツァー
古くて新しい日本の伝統食品	陸田 幸枝	「女の痛み」はなぜ無視されるのか？	アヌシェイ・フセイン
京都の食文化	佐藤 洋一郎	フードリテラシーを高めよう！ 食と健康の基本がわかる教科書	下野 房子・ 吉田 幸子
村八分	礪川 全次	今と未来がわかる脳と心	毛内 拓監修
遊廊・花柳界・ダンスホール・カフェーの近代史	小針 侑起	にっぽんのスズメ	小宮 輝之監修
かんたん、かわいい！ パネルシアター	ナツメ社	図解腎臓が寿命を決める	黒尾 誠
1冊目に読みたいDXの教科書	荒瀬 光宏	ぼくたちが知っておきたい生理のこと	博多 大吉・ 高尾 美穂
限界ニュータウン 荒廃する超郊外分譲地	吉川 祐介	文系のためのめっちゃやさしい数学 数と数式編	山本 昌宏監修
● 伊藤ふきげん製作所 思春期をサバイバルする	伊藤 比呂美	「足がよくつる」人のお助けBOOK	出沢 明
道草を食いながら 出会った人びと、食文化	石毛 直道	<b>5 技術・工業・家事</b>	
● 白バイ隊員交通取り締まりとほぼ日記	洋吾	海と灯台学	日本財団海と灯台 プロジェクト
<b>4 自然科学・医学</b>		弱い力でも使いやすい頼もしい文具たち	波子
作ろう！フライドチキンの骨格標本 よくわかる恐竜と鳥の骨学入門	志賀 健司	ハンドメイドのミニ財布 26種類のかわいいデザイン	日本ヴォーグ社
量子の世界をみる方法「スピン」とは何か	村上 洋一	しゃなママのベストレシピ	前田 美智子
宇宙の終わりに何が起ころのか 最新理論が予言する「5つの終末シナリオ」	ケイティ・マック	これ、台所でつくれます。発酵漬物から 手打ち麺、ベーコン・チーズまで	農山漁村文化協会
日本の絶滅危惧生物図鑑 環境省レッドリスト	岩槻 邦男・ 太田 英利	“だし”を使わなくてもおいしい煮もの	吉田 愛
犬だけの世界 人類がいなくなった後の犬の生活	ジェシカ・ピアス	クックパッドの大絶賛！ スープレシピ	ワン・パブリッシング
疫病の社会史	五味 文彦	珍道中！ごみ紀行	五味 泰平
イラストで楽しく学ぶ！ 食中毒の知識	伊藤 武ほか	● ええかげん論	土井 善晴・ 中島 岳志
肩甲骨はがし 完全版	遠藤 健司	晩ごはん食堂 おかわり！ 週末まとめ 買いから平日5日間のラクチン献立	晩ごはん食堂
● 統合失調症の一族 遺伝か、環境か	ロバート・コルカー	とんでもないお菓子作り	江口 和明
絶滅してない！ ぼくがまぼろしの動物を探す理由	宗像 充	● 日本全国タイル遊覧	吉田 真紀
即効！耳ほぐし 1回1分もむだけで、不調をすっきり改善！	松岡 佳余子	この人と、一緒にいるって決めたなら タサン志麻&ロマン、私たちの場合	タサン 志麻・ タサン ロマン
専門医がやさしく教えるリウマチの治し方	佐藤 理仁	指が出せる棒針編みの2wayミトン	みぞはた ひろみ
筋肉と美容のミカタたんぱく質大全	河谷 彰子監修	針がいらないいとまき花	PieniSieni
リセットの習慣	小林 弘幸	ひと皿満足スープ おかずいらず、手間いらず。	榎本 美沙
身の回りにあるノーベル賞がよくわかる本	かきもち	一生使えるスープと汁もの大全	吉澤 まゆ
● 世界を支えるすごい数学	イアン・スチュアート	ケーキ 知って味わう楽しみ×基礎知識 ×食べたいケーキ33	フジノ シン
ノーベル化学賞に輝いた研究のすごい ところをわかりやすく説明してみた	山口 悟	ラテアート&デザインカプチャーノ上達 BOOK	篠崎 好治監修
分子をはかる がん検診から宇宙探査まで	藤井 敏博	収納上手のインテリア押入れ	成美堂出版編集部
山火事と地球の進化	アンドルー・ C. スコット	サステイナブルに家を建てる	服部 雄一郎・ 服部 麻子
図解でわかる14歳から知る生物多様性	インフォビジュアル 研究所	もっと知りたいチャンネルと20世紀モード	朝倉 三枝

# 新 着 図 書 案 内 令和5年1月 No.3

●印は今評判の本です。

予約は電話やメール、ホームページでも受け付けています。

書 名	著 者	書 名	著 者
<b>5 技術・工業・家事</b>		四季を彩る美しいヒンメリ 麦わらで作る幾何学模様のモビール	大岡 真奈
● 日本全国日本酒でめぐる酒蔵& ちょこっと御朱印 東日本編・西日本編	地球の歩き方 編集室	おりがみで作る器と箱 平らなトレイから飾りのついた箱まで	布施 知子
小鍋仕立ての絶品鍋	小林 まさみ	老いてきたけど、まあ～いっか。	野沢 直子
ワタナベマキのいまだき乾物料理	ワタナベ マキ	平尾誠二さんのこと	藪木 宏之
へとへとパン 小麦粉を使わない白崎茶 会のかんたんレシピ	白崎 裕子	もっと知りたい中国の美術	富田 淳監修
テッコツ！ 知られざる鉄骨の世界	杉山 忠義	篠田桃紅 自分だけのかたちを求めて	平凡社
井田家の40年 暮らしとお金のありのまま	井田 典子	<b>8 言語</b>	
新・日本懐かし自販機大全	魚谷 祐介	● 語学の天才まで1億光年	高野 秀行
みその本 仕込んで、使って、一年中楽しめる	飛田 和緒	日本人が言えそうで言えない英語表現650	キャサリン・ A. クラフト
● 捨てない未来 キッチンから、ゆるく、 おいしく、フードロスを打ち返す	枝元 なほみ	言いたいことを、人を動かす“ことば”に 変えるすごい言い換え700語	話題の達人倶楽部
夫と妻の定年前後のお金と手続き 税理士・社 労士が教える万全の進め方Q&A大全	文響社	英文学者がつぶやく英語と英国文化を めぐる無駄話	安藤 聡
ゆーママわが家の20年レシピ	松本 有美	<b>913 日本の小説</b>	
<b>6 産業・商業</b>		プリテンド・ファーザー	白岩 玄
北欧でみつけたサステイナブルな暮らし方	井出 留美	すべてのことはメッセージ 小説ユーミン	山内 マリコ
ウシのげっぷを退治しろ 地球温暖化ストップ大作戦	大谷 智通	巨木の家スペースポート	佐々木 静子
● 不況に強いビジネスは北海道の「小売」に 学べ	白鳥 和生	僕は何度でも、きみに初めての恋をする。	沖田 円
図書館司書32人が選んだ犬の本棚	高野 一枝	全部を賭けない恋がはじまれば	稲田 万里
山奥ビジネス 一流の田舎を創造する	藻谷 ゆかり	モノガタリは終わらない	モノガタリ プロジェクト
世界と日本の鉄道史	川辺 謙一	ゆるる階	村松 友視
観光立国・日本 ポストコロナ時代の戦略	箱谷 真司	● サブスクの子と呼ばれて	山田 悠介
ファーストペンギン シングルマザーと 漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡	坪内 知佳	ふるさと銀河線(軌道春秋 1)	高田 郁
● 切手デザイナーの仕事 日本郵便切手・葉書室より	間部 香代	駅の名は夜明(軌道春秋 2)	
世界のすごい駅 旅情あふれる珠玉の 鉄道駅と地下鉄駅170選	地球の歩き方 編集室	十三夜の焰	月村 了衛
<b>7 芸術・スポーツ</b>		吹上奇譚 第4話 ミモザ	吉本 ばなな
野球のルール 超・初級編	中野 良一ほか	● 清浄島	河崎 秋子
● CONTACT ART 原田マハの名画鑑賞術	原田 マハ	悪と無垢	一木 けい
まるごとバナナが、食べきれない	大久保 佳代子	オーバースペック	未須本 有生
カッター1本でOK! はじめての消しゴム はんこ 増補改訂版	立澤 あさみ	逆転美人	藤崎 翔
世界遺産の50年 文化の多様性と日本の役割	松浦 晃一郎ほか	君といた日の続き	辻堂 ゆめ
● うつ病になってマンガが描けなくなりました 発病編	相原 コージ	● 機械仕掛けの太陽	知念 実希人
教養としての能楽史	中村 雅之	写楽女	森 明日香
新海誠 国民的アニメ作家の誕生	土居 伸彰	川のほとりに立つ者は	寺地 はるな
野球解析図鑑 投げる捕る打つ	川村 卓	● 一人二役(吉原裏同心 38)	佐伯 泰英

# 新着図書案内 令和5年1月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書名	著者	書名	著者
むすび橋(結実の産婆みならい帖 1)	五十嵐 佳子	歳時記夢幻舞台24の旅	高樹 のぶ子
星巡る(結実の産婆みならい帖 2)		五木寛之セレクション 1 国際ミステリー集	五木 寛之
願い針(結実の産婆みならい帖 3)		水底のスピカ	乾 ルカ
今夜、ぬか漬けスナックで	古矢永 塔子	永遠年輕	温 又柔
老人ホテル	原田 ひ香	<b>9 その他の文学</b>	
春いちばん 賀川豊彦の妻ハルのはるかな旅路	玉岡 かおる	フローリングのお手入れ法	ウィル・ワイルズ
潜熱	乙川 優三郎	この父ありて 娘たちの歳月	梯 久美子
葵のしづく	奥山 景布子	● 有吉佐和子の本棚	有吉 佐和子
変な絵 あなたには、この絵の「謎」が、 解けますか？	雨穴	三浦綾子生誕100年記念文学アルバム ひかりと愛といのちの作家	上出 恵子監修
松本-日本平殺人連鎖	梓 林太郎	風の便り 故郷へ、友へ、恩師へ、	山田 風太郎
不知火判事の比類なき被告人質問	矢樹 純	野原	ローベルト・ ゼーターラー
京都四条月岡サヨの板前茶屋	柏井 壽	● とりあえずお湯わかせ	柚木 麻子
● 老害の人	内館 牧子	● 「父の支配」を乗り越えた時 娘と名字	沖藤 典子
● 小さき王たち 第3部 激流	堂場 瞬一	司馬遼太郎の時代 歴史と大衆教養主義	福間 良明
吉原と外	中島 要	砂漠と異人たち	宇野 常寛
過怠	谷村 志穂	アロハで酒場へ なぎら式70歳から始める 「年不相応」生活のススメ	なぎら 健吾
● 太陽諸島	多和田 葉子	● 無人島のふたり 120日以上生きなくちゃ日記	山本 文緒
ゾンビ3.0	石川 智健	● おっばい2つとってみた がんと生きる、働く、伝える 「神様」のいる家で育ちました 宗教2世な私たち	阿久津 友紀
● 赤ずきん、ピノキオ拾って死体と出会う。	青柳 碧人	闇の覚醒 (死のエデュケーション Lesson2)	菊池 真理子
女の敵には向かない職業	水生 大海	私は怒っている	ナオミ・ノヴィク
オメガ城の惨劇 SAIKAWA Sohei's Last Case	森 博嗣	ガリバー旅行記	樋口 裕一
少年探偵には向かない事件	佐藤 友哉	ジャーナリスト与謝野晶子	ジョナサン・スウィフト 柴田 元幸訳
● 薔薇色に染まる頃 (紅雲町珈琲屋こよみ 10)	吉永 南央	● 湊かなえのことば結び	松村 由利子
家康と信康 父と子の絆	岳 真也	ズラータ・ イヴァシコワ	湊 かなえ
小説家の一日	井上 荒野	アンソニー・ ホロヴィッツ	ズラータ・ イヴァシコワ アンソニー・ ホロヴィッツ
● 烏の緑羽(八咫烏シリーズ 2-3)	阿部 智里	ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記	アンソニー・ ホロヴィッツ
乱れる海よ	小手鞠 るい		
ぼくらは、まだ少し期待している	木地 雅映子		
鉄道小説	乗代 雄介ほか		
君のクイズ	小川 哲		
天下大乱	伊東 潤		
● 麻阿と豪	諸田 玲子		
うきよの恋花 好色五人女別伝	周防 柳		



移動図書館車こぐま号のくーちゃんです。

くーちゃんからのお願いです。

冬の時期、建物の床は濡れて、たいへん滑りやすくなっています。建物に入るときは、できるだけ靴底の雪や氷を落としてね。そして、くれぐれも足下には気をつけて歩きましょう。

## 「市民ちよこっとギャラリー」を設置しました

市民の方からのご厚意で、本館2階雑誌架上に「市民ちよこっとギャラリー」を設置しました。市民の方の作品やコレクションを飾るミニコーナーです。ただいま、お手製の額縁に入った詩と、『懐かしの登別温泉のホテルのマッチ』を展示中です。図書館で展示したいものがありましたら、ぜひ職員までお声がけください。



- \* 展示スペースに置くことが出来ない場合お断りすることがあります。(最大A4サイズ程度)
- \* 展示作品は2週間～1か月程度展示後、お返しいたします。

## 図書館カレンダー 令和5年(2023年) 1月

日	月	火	水	木	金	土
1 年未年始休館(1/3まで) ※全ての図書館施設が休館です	2	3	4	5 分館休館	6	7 映画会
8 デジタルおはなし会	9 成人の日 本館休館	10 祝日振替 本館休館	11	12 ブックスタート 分館休館	13	14 おはなし会
15	16 本館休館	17	18	19 分館休館	20	21
22	23 本館休館	24	25 ライブラリースタート おはなし会	26 分館休館	27 図書整理日 本館休館 分館休館	28 おはなしほけっと
29	30 本館休館	31	2/1	2/2	2/3	2/4 映画会

## 図書館施設案内

	本館	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	こぐま号
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	中央町5-21-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	85-4324
休館日	月曜・祝日・年未年始 毎月最終金曜	木曜・年未年始 毎月最終金曜	年未年始のみ		日曜・月曜 祝日・年未年始
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~17:30 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	巡回表のとおり